

宮陵会報

2017・7

Kyu-Ryo

No.104

発行責任者

一般社団法人
神奈川大学宮陵会
広報委員会

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内
TEL 045-481-5661
(内線 2451~3)
FAX 045-413-0791
印刷所 株式会社 江森印刷所

青い囲みは「神奈川大学みなとみらいキャンパス」予定地。グローバル都市みなとみらい21地区に「国際・日本」の融合した未来「創造・交流」キャンパスが2021年4月開設予定。(2017.7.8撮影(吉原勇樹))

Contents No.104

平成29年度総会関係の報告……………	2	全日本大学駅伝予選会報告……………	7
平成28年度決算、平成29年度事業計画・予算…	5	本部便り、地域組織だより……………	8
企業で活躍している卒業生紹介……………	6	宮陵会からのお知らせ……………	8

平成29年度 定時総会開催される

6月10日 横浜キャンパス16号館セレストホール

平成29年度定時社員（代議員）総会は、去る6月10日（土）午後3時から4時まで、横浜キャンパス16号館セレストホールで社員164名の出席を得て開催された。総社員は183名であり本人出席110名、議決権行使19名、委任状出席35名の内訳であった。

平成28年度に行われた社員選挙により、新たに選任された50名を含む初の総会である。

定時総会に先立って、会場スクリーンに本年の入学式で上映された「神奈



川大学の紹介」が流された。総会の進行役を理事庄子さち子（54法）が担当し、急逝された故小坂谷義夫氏（茅ヶ崎・寒川宮陵会会長）のご冥福を祈り全員で黙祷を捧げた。

次いで横浜専門学校、神奈川大学の両校歌を斉唱し開会した。

会長大場憲治（44経）が定款第16条により議長選任について諮り、武笠健次（41法）を議長に選任した。議長は、議事録署名人に飯田敏一（45貿）と村山宏幸（平6情報）の両氏を指名した。会長は挨拶で、平成27・28年度の2年間を役員、代議員として宮陵会活動にご尽力いただいた事に感謝された後、本年は設立80周年を迎えること、記念式典は会館建設に合わせて平成30年度を予定していること等が述べられた。

議事に入り、専務理事佐藤武から、平成28年度事業内容について報告がされた。報告事項に関する件ではないが、神奈川大学並びに宮陵会への要望等が社員泉澤高光（47英）から出された。

次に、決議事項に入り、第1号議案「平成28年度の決算承認の件」を審議、原案通り承認された。第2号議案「役員選任の件」を審議、議長は採決にあたり、定款第19条第3項の規定により、

候補者ごとに個別に賛否を諮り、原案通り承認された。

社員庄子忠宏（40工経）から、平成29年度事業計画及び予算についての審議を行わないことについて質問があり、議長から、定款により事業計画及び予算は、総会の審議事項ではないことが回答された。以上で、平成29年度定時総会は閉会した。

総会終了後の休憩時間に、第1回理事会を開催し、会長、副会長3名、専務理事3名が選任されたことが報告された。

会長就任の御挨拶

第十九代会長

大場 憲治



会員の皆様におかれましては、お元気で活躍の事と思えます。この度、6月10

日に開催されました一般社団法人神奈川大学宮陵会（以下「本会」という）の、平成29年度定時総会に於いて、理事・監事の皆様からご推薦を受け、前期に引き続き会長職を務める事と成りました。まだまだ未熟ではありますが、会務運営に、会の活動に最大限の努力をして重責を果たして参りたいと考えて

ご来賓として神奈川大学兼子良夫学長、学校法人神奈川大学小林孝吉常務理事、学校法人神奈川大学理事・事務局長の永和田隆一氏を迎えて、本会の表彰披露並びに大場憲治会長から学校法人へ「米田吉盛教育奨学金」募金への寄付の目録贈呈が行われた。

続いて兼子良夫学長並びに小林孝吉常務理事からご祝辞をいただいた。

その後、会場を1号館8階に移し、懇親会が開かれ大学関係者を交えて、和やかなうちにお開きとなり全日程を終了した。

おります。神奈川大学も、みなとみらい21地区に新キャンパス、「国際・日本」の融合した未来「創造・交流」キャンパスの展開をコンセプトに、日本文化を日本から世界へ発信する新たな国際系学部の開設やグローバル系学部の集約を行うほか、建物の低層部分には、あらゆる「人」が集い、「知」が交流する拠点（ソーシャルコモンズ）を設置し、大学としての機能だけでなく、新しい学びの場・賑わいの場となる、新たな魅力と活気に満ちた街に、学生数5,000人を含めた、年間延べ10万人の来街者を見込むなど100周年に向けて将来構想が着実に進んでおります。課外活動団体に関しても、全国の会員が期待を寄せている陸上競技部が、第93回東京箱根間往復大学駅伝競走で見事総合5位の成績を収め大きな感動を届けて頂きました。本年度は、久々に大学三大駅伝（全日本駅伝・出雲駅伝・

箱根駅伝)に出場が決まる等、全国の会員に素晴らしいニュースを届ける事が出来るように成って参りました。その他、水泳部、女子サッカー部、男子バスケットボール部、吹奏楽部など、多くの準会員(団体・個人)の活躍に目覚しいものがあります。宮陵会としても今迄以上に、大学幹部・関係者の皆様方と意見交換など、交流を深めて、大学に対して何が出来るのかを明確にして進めてまいりたいと思っております。

本会も、一般社団法人移行後5回目の定時総会が開催されました。議案としては、「平成28年度決算」と「役員選任」の二つで、決算につきましては原案の通りご承認頂きました。役員改選につきましては、候補者が定員を超えませんでしたので選挙は行わず、役員候補者推薦委員会により推薦された理事20名、監事3名が選任されました。理事会では、宇野峰雪氏(副会長)と北野紘一氏が理事を退任され、新たに久米信行氏と萩原くみこ氏が選任されました。女性理事1名増(計3名)と成りました。副会長は、間中晟理事が再任され、会田彰理事・春原正三郎理事が新たに副会長に選任されました。専務理事は、平能孝一理事と佐藤武理事が再任、新たに久米信行理事が新任として選任されました。監事につきましては、三縄昭男氏・今田正紀氏・三宮政俊氏が再任されました(詳細は別掲新役員紹介をご参照下さい)。任期であります平成29年度・30年度は、会長

(1名)・副会長(3名)・専務理事(3名)の三役(7名)を含めた、理事(20名)・監事(3名)体制にて進める事に成りました。

さて、本会の運営については、定時総会で説明した通り、1. 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事業、2. 神奈川大学の進展と維持に必要な事業、3. 本部関係では、財政基盤の確立、本会事務局体制の強化、宮陵会館建設・設立80周年事業、地域組織の設立・再建への支援、特別委員会の継続強化など、各種委員会を設置して、①総務財政委員会、②組織委員会、③広報委員会、④事業委員会、⑤女性委員会を中心に、理事全員が、それぞれの委員会に参加して目的達成に取組みます。又、今年度は全国各地域組織代表者会議を予定しております。どうぞご理解を賜りまして、会員皆様方の絶大なるご支援と、ご協力をお願い申し上げます。



新役員紹介(次頁へ続く)



会長
大場 憲治
(昭44経)



副会長
間中 晟
(昭44経)
組織・女性委員会
担当



副会長
会田 彰
(昭45賢)
事業委員会担当



副会長
春原 正三郎
(昭47法)
総務財政・
広報委員会担当



専務理事
平能 孝一
(昭48賢)
事業委員会委員長・
広報委員会担当



専務理事
久米 信行
(昭49)
総務財政委員会
委員長・
女性委員会担当



専務理事
佐藤 武
(昭和56経)
組織委員会委員長



理事
栗田 光郎
(昭和39機)
総務財政委員長



理事
古川 勝彦
(昭40経)
広報委員会
副委員長



理事
浅野 博之
(昭43賢)
組織委員会
副委員長



理事
久保 清治
(昭43賢)
事業委員会
副委員長



理事
中野 健一
(昭45経)
総務財政委員会
副委員長



理事
萩原 くみこ
(昭59法)
組織委員



理事
永田 晴彦
(昭58賢)
広報委員



理事
庄子 さち子
(昭54法)
女性委員会
副委員長



理事
渡邊 恵子
(昭52法)
女性委員会
委員長



理事
内藤 正久
(昭51機)
広報委員会
委員長



理事
多湖 秀明
(昭46経)
組織委員



監事
三宮 政俊
(昭51法)



監事
今田 正紀
(昭45経)



監事
三縄 昭男
(昭43賢)



理事
赤井 昭二
(平6応化)
事業委員



理事
手塚 正
(昭60英)
事業委員

新役員紹介 (前頁より続き)

表彰者芳名

◆功勞表彰(表彰規程第2条第2号該当)

地域組織関係

砂邊 正雄 様
昭和33年工学部電気工学専修課程卒業
元沖縄県宮陵会 会長

◆感謝表彰(表彰規程第2条第3号該当)

地域組織関係

土屋 孝人 様
昭和33年工学部電気工学専修課程卒業
元苫小牧宮陵会 会長

佐藤 一昭 様
昭和43年工学部電気工学科卒業
元青森県宮陵会 副会長

泉 隆一郎 様
昭和39年法経学部経済学科卒業
元柔道部OB・OG会 副会長

松本 直高 様
昭和40年法経学部経済学科卒業
元レスリング部OB会 副会長・幹事長

◆特別表彰(表彰規程第2条第4号該当)

鈴木 健吾 様
経済学部現代ビジネス学科4年
第93回東京箱根間往復大学駅伝競走
2区区間賞
オランダ・ナイメーヘン ロードレース
15km 8位
第20回日本学生ハーフマラソン選手権大会
優勝(大会新記録)

後藤 真由子 様
人間科学部人間科学科4年
第92回日本学生選手権水泳競技大会
200m 背泳ぎ 優勝
800m 自由形 3位
第92回日本選手権水泳競技大会
200m背泳ぎ 3位
400m自由形 7位
800m自由形 8位
第10回アジア選手権水泳競技大会
200m背泳ぎ 4位

平成28年度 貸借対照表

平成29年3月31日現在 (単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 当年度, 前年度, 増減. Rows include 資産部 (流動資産, 固定資産) and 負債部 (流動負債, 固定負債).

平成28年度事業報告

- 会誌・会報の編集、発行/会誌(4月)は正会員(58,783件)へ、会報(夏・冬)は会員(住所登録者)(約103,000件)へ送付。
■ 神奈川大学学部卒業もしくは大学院修了の専任教員を対象とした教育研究奨励助成として、4件の研究に対して755,000円を助成。
■ 給付奨学金として学部生7名及び大学院生13名に対し、総額6,752,500円を給付。
■ 「米田吉盛教育奨学金」募金への指定寄付として2,000万円を寄付。
■ 大学主催事業であるホームカミングデー、卒業祝賀会、駅伝報告会、一般公開講座等に対して合計730万円の協賛金を寄付。
■ 平成29・30年度の代議員を選出する選挙を実施し、184名の代議員が選任された(代議員1名のご逝去により現在の代議員数は183名)。
■ 本会は平成29年度に設立80周年を迎えるが、宮陵会館(仮称)の竣工時期等を勘案し、平成30年度に設立80周年記念事業を行うことを決定した。
■ 熊本地震罹災地域組織(熊本県・大分県)へ、お見舞金並びに定時総会において募った義援金を贈呈した。

平成29年度事業計画

- 全国地域組織代表者会議の開催(平成29年10月開催予定)。
■ 新たな地域組織の設立支援、休眠状態にある組織の再建支援、並びに基準に準拠した設置承認の取り消し等。
■ 会館建設特別委員会及び設立80周年記念事業特別委員会の継続開催。
■ 準会員(在学生)に対する「宮陵会」広報活動の強化。

平成28年度 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで (単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 当年度, 前年度, 増減. Rows include 経常増減の部 and 経外増減の部.

平成29年度 正味財産増減予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位:円)

Table with 3 columns: 科目, 予算額, 備考. Rows include 経常増減の部 and 経外増減の部.

企業で活躍している卒業生紹介

出塚食品株式会社

代表取締役

出塚 精一氏に聞く



◆経歴

昭和9年1月 北海道紋別郡雄武

(おつむ) 町生まれ

昭和31年 短期大学部商科卒業

昭和31年 出塚食品(株)入社

昭和36年 ほたて蒲鉾を考案、翌年日

本橋三越本店と取引開始

昭和52年 出塚食品(株)代表取締役就任

昭和61年 「全国蒲鉾品評会北海道知

事賞」を受賞

平成8年 販売店と宴会場を併設した

建物に建替え、地域の交流

場所として活用

◆会社の紹介

北海道北東部のオホーツク海に面した雄武町に、昭和9年父親が創業しました。当社は蒲鉾・折詰仕出し、惣菜の製造・販売で、当社の売りは、オホーツク海で獲れた魚を使用したすり身でホタテの貝柱を丸ごと1個包んだユニークな珍味蒲鉾です。味が評価され日本橋三越本店に卸したり、通信販売大手の楽天やアマゾン等に「出塚かまぼこ」という名称で贈答用を中心に出售しています。

◆神大進学のかげと学生時代

私は雄武で生まれて育ち、高校は紋別でしたので、是非とも東京に行ってみたいと考えていました。当時は、雄武から高校に進むのは100人のうち7人しかいない時代で、ともかく東京へ行って、東京がどのようなところなのかを調べてみたいと切望していました。東京へ行こうといろいろ調べたところ、札幌の北大で神大の地方試験があり、それを受けて合格しました。本当は4年生の大学に行こうと思っていたのですが、家を手伝わなければいけませんし、4年間も親に負担をかけるのは無理だとあきらめ、短大にしました。合格し、東京に行きたいと両親に話しましたら、「一言「うん」と言ってくれました。その時の両親の複雑な表情は忘れられません。父親が決断してくれましたが、母親も一緒になって寝ないで働いて仕送りをしてくれました。結局、雄武から大学へ進学したのは、私一人でした。お金を節約するため東京へは、各駅停車を乗り継ぎ、途中青函連絡船の洞爺丸で本州へ渡り、さらに各駅停車という行程で、雄武から3

日目に上野に着きました。

上京し、落ち着いてから銀座へ行って銀座四丁目の三越を見て、「うちの蒲鉾を三越で売ってもらいたい!」という夢が芽生えました。学生時代は、学生服を着て横浜の蒲鉾を作っている工場に飛び込みで訪問し、北海道で蒲鉾屋をやっているのを見て製造工程を見せてくださいとお願ひし、快く見せてもらいました。

ともかく、学生服を着て2年間築地や伊勢佐木町など、どこにでも出かけて行っているいろいろなものを見てきました。見るものすべてが新鮮で、一気に世界が広がりました。このような経験をしたおかげで、帰郷したら何か新しい製品を作ってその蒲鉾を三越で売ってもらおう、という「目標」が生まれました。

◆新製品の開発と三越との取引

帰郷後、デパートで売るのが良いものがないかと試行錯誤した結果、地元ホタテの貝柱を1つそのまま入れて、それをすり身で包み、食べると貝柱の風味が口いっぱい広がる「ホタテ蒲鉾」にたどり着きました。開発には5年間かかりました。日本橋三越本店には、従妹の伝手でバイヤーに試食してもらい、これなら売れるとい



う評価をいただき、翌年から取り扱ってもらえるようになりました。この商品は今でも贈答品として売れており、その利益と銀行からの借り入れで、3階建ての建物に建替えることができました。若い人には、ともかく我慢して「夢」や「目標」を持ってがんばってほしい、とアドバイスします。

◆親への感謝と恩返し

親にはかなり無理をさせて、都会で2年間過ごさせてもらいました。そのおかげで、私の人生が大きく変わりました。親の代よりも商売を大きくできたので、喜んでくれたと思います。また、大学に行かせた価値があったと、きつと認めてくれたと思います。ともかく、親に恩返しをしようと思つて、これまで頑張つてやってきました。



(取材・文責/内藤)

全日本大学駅伝予選

見事 1位 通過を果たす!

2大会ぶり16回目の本大会出場決定!!



2017年6月18日(日)にさいたま市駒場運動公園競技場において、秩父宮賜杯第49回全日本大学駅伝対校選手権大会関東学生陸上競技連盟推薦校選考会が行われた。

この選考会は、関東学連が11月に行われる本大会の出場推薦校を選考するものであり、各校8名の選手が2名ずつ4組に分かれて10,000mを走り、総合タイムで上位9校を決定するものである。神大駅伝チームは各選手素晴らしい走りを見せ、見事1位で選考会を通過し、2大会ぶりに全日本大学駅伝対校選手権大会の出場権を獲得した。

1組目には荻野太成選手(2年)と、当日エントリ変更となった越川堅太選手(2年)が出場。小雨が降り始める中、両選手、良好なコンディションでスタートした。レースは天候にも恵まれたことで適度なペースで進み、越川選手は集団の前方、荻野選手は集団の中盤についた。レースが進むにつれて徐々に集団がくずれきてきたが、越川選手は常に先頭に絡み、荻野選手



荻野 太成選手



宗直 輝選手



越川 堅太選手

は徐々に集団の前方に位置を変えていった。越川選手は2着、荻野選手は4着となり、この時点で総合1位。期待の2年生コンビがチームに勢いをつけていく。

続いてスタートした2組目には、宗直輝選手(2年)と安田共貴選手(2年)が出場。

序盤から牽制し合い、ゆったりとした大集団でレースが展開された。両選手とも大集団の中盤につき、大きな変動もいまま終盤までもつれ込む我慢のレースとなった。8,000m付近から徐々にペースに変動があるも、ペースが上がると宗選手、安田選手共に必死に先頭に食らいつきゴール。宗選手が8着、安田選手は13着となり総合2位。



鈴木 祐希選手



大塚 優選手

順位は落としてしまったが、タイム差は少なく上位での通過も見えてきた。
3組目には大塚優選手(4年)と鈴木祐希選手(4年)が出場。1組目同様、序盤から集団は快調なペースで進み、徐々に集団が縦長になっていった。終盤にさしかかると一気にペースが上がリ、大塚選手、鈴木選手共に先頭集団から離されてしまう



安田 共貴選手

年始の箱根駅伝に続き、私たちに感動を与えてくれた神大駅伝チーム。飛躍し続ける彼らに、11月5日に開催される本大会において、心からのエールを送りたい。



山藤 篤司選手

盤にさしかかるころには集団も崩れ、鈴木選手は独走状態になり5着でゴール。山藤選手は集団からこぼれてしまったが、単独走になってもなお粘り強く前を追うと、ラストからの巻き返しで8着ゴール。2名とも上位でゴールしたことで、3組目までの順位を死守し、3時間56分16秒62というトップタイムで本大会出場を決めた。



鈴木 健吾選手

が、残り300mで驚異のラストスパートを仕掛けた大塚選手が前方にいた鈴木選手に追いつき、最後は両選手が競りながらゴール。鈴木選手が3着、大塚選手は4着になり総合1位に返り咲いた。
最終組となる4組目には昨年同様、主将の鈴木健吾選手(4年)と山藤篤司選手(3年)が出場。各大学のペースが配置され、留学生を先頭にハイペースのレースが展開された。序盤から縦長になった集団は、留学生が先導する数名が独走する中、大きな集団を鈴木選手が牽引し先頭を追った。終

全国のブロック会が新たなイベントを企画して 皆さまの参加をお待ちしています



平成 27 年度から、ブロック会は地域組織の代表者によるブロック会議に併せて、主管地域以外のブロック内の会員の皆様にもご案内し、参加いただけるようになりました。なお参加ご希望の方は事前のお申し込みが必要です。平成 29 年度の開催予定は、下記のとおりです。

開催日	ブロック名	主管地域組織	会 場	備 考
9. 2(土)	中国ブロック	鳥取因幡	鳥取シティホテル	16:00～ブロック会議 18:00～合同懇親会(会費:5,000円)
9.23(土)	北陸ブロック	福井県	福井県織協ビル8F	12:00～13:00 講演会 演題:「箱根駅伝を走って」 講師:(元)陸上競技部、(現)神奈川大学 平塚学生課職員 岩原正樹 13:15～15:30 懇親会(会費:8,000円、女性6,000円)
9.30(土)	九州ブロック	福岡	グランドハイアット福岡	17:30～19:10 ブロック会・講演会 演題:「神奈川大学のスポーツ戦略について」 講師:スポーツセンタースポーツ戦略室課長 勝又章好 19:30～21:00 懇親会
10.21(土)	近畿ブロック	大阪府	ホテル阪急 インターナショナル6F	11:30～13:30 ブロック会・講演会 演題:「みなとみらいキャンパス開設について」 講師:神奈川大学工学部建築学科 内田青蔵教授 13:30～15:30 懇親会(会費:8,000円、女性・在学生6,000円)
10.28(土)	神奈川県ブロック	南足柄 三浦半島 横浜北 瀬谷・泉区 港南区	神奈川大学横浜キャンパス 講演会 3号館地階 懇親会 B104講堂 19号館地階 ラックスホール	15:45～16:45 記念講演会 演題:「神奈川大学キャンパスの過去と未来」 講師:神奈川大学工学部建築学科 内田青蔵教授 17:00～18:30 懇親会(会費:4,000円、女性2,000円)
11. 4(土)	四国ブロック	香川県	オークラホテル高松	※詳細未定の為、時間等変更となる場合がございます 14:00～15:30 ブロック会 15:30～16:30 講演会 17:00～ 懇親会(会費:7,000円、女性5,000円)

北海道ブロック会は6月17日(土)に開催済み

宮陵会だより

■会議予定

理事会 平成29年9月15日(金)
11月17日(金)

■全国各地域組織代表者会議

平成29年10月7日(土)

■地域組織(地域)総会開催予定

平成29年8月19日(土)	佐賀県宮陵会
9月2日(土)	大分県宮陵会
9月16日(土)	静岡県西部宮陵会
9月30日(土)	奈良県宮陵会
10月10日(土)	函館宮陵会
10月28日(日)	山形県宮陵会
11月4日(土)	新潟県宮陵会
11月18日(土)	広島県宮陵会
11月25日(土)	宮崎県宮陵会

■新地域組織代表者紹介

同学生会大連宮陵会	平23中	渡部慎太郎
藤沢宮陵会	昭39機	栗田 光郎
神奈川県庁	昭57法	渡邊 正義
横浜信用金庫	昭58経	山田 実

第23回ホームカミングデー 開催のお知らせ

◆日程
平成29年10月8日(日)
午前10時受付開始

◆場所
神奈川大学横浜キャンパス内

ご友人、ご家族とお誘いのうえ、懐かしい母校を終日お楽しみください。

当日クラス会等を予定される場合には、教室を利用できますので、代表の方は名称・人数を事前にホームカミングデー実施事務局までご連絡ください。

神奈川大学ホームカミングデー
実施事務局(総務部校友課)

TEL 045-481-5661(代)
FAX 045-481-2741
E-mail: sotsugyo-info@kanagawa-u.ac.jp

■訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

渡辺 光男殿(昭33経) 平成29年4月21日
元 藤沢宮陵会会長
馬場 光紀殿(昭41経) 平成29年5月
元 空手部OB会会長
春野 武久殿(昭48法) 平成29年5月19日
元 函館宮陵会事務局長

■夏季一斉休暇

■事務局よりお願い

8月14日(月)～17日(木)

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

① 神奈川大学ホームページ
卒業生の心づな

(http://alumni.kanagawa-u.ac.jp/)
↓卒業生情報登録・変更のご案内

② FAX 045-413-0791
③ E-mail: kyuyou-jimu@kanagawa-u.ac.jp

*登録いただきました情報は、皆様の個人情報的重要性を深く認識し、「学校法人神奈川大学プライバシーポリシー」に従い適正な保護管理に努めています。